

ポーター だより No. 2



「紹介いたします」
『大館おおとり教室』を
リポーター 桜庭 ツギさん
(中道2丁目)

高度経済成長による急激な社会の変化に伴い、子どもを取り巻く教育環境も著しく変化しています。このような状況のもとで、不登校児童・生徒が全国的に激増していることは周知の事実であり、大館市も例外ではありません。

身体的にはなにも問題はなく、知的にも十分な能力を持っているにもかかわらず、なんらかの情緒的な問題によって登校できないまたは登校しようとしていない子どもたち・・・不登校は、さまざまな情緒的な問題を持つ子どもたちが、学校という場に対する種の反応としてあらわす行動の一つと言われています。多くの場合、子どもの悩み、親の養育態度や対応の仕方、学校での問題などが複雑に絡み合って「不登校」という状態が生ずるようです。

子どもたちが自分自身のことを理解し、自分のしたいことがよく見えるように援助してくれる、不登校児童・生徒のための適応指導教室『大館おおとり教室』を訪ねてみました。

〇「おおとり教室」では

指導員の成田先生のお話をまとめてみました。「おおとり教室」では、不登校の児童・生徒に対して、個別指導や集団指導を実施することにより、学習意欲、自立心、社会性を育てながら、学校復帰の手助けをするとともに、保護者に対しても援助活動を行っています。今、いちばん大切にしていることは、児童・生徒の考えを尊重しながら、彼らに「居場所」を与え、肯定的立場に立つて認めてやることからの出発……。



成田先生「子どもたちが充実感を持てる活動を行っています」

その中で、在籍している学校の学級担任、保護者、子どもとのかけ橋になり、報告・連絡・相談を密にし、連携を強化しています。また、児童・生徒の本音を引き出すような「話し合い」「聞き方」の工夫と努力をし、子どもたちが充

実感を持てるような雰囲気づくり
に努めています。

具体的活動としては、(1) 学習・読書の時間を多くし、人間としての生き方、考え方、行動力、忍耐力、自信等をつけることを中心とする。(2) 生活リズムの確立を図り、学校と家庭の連携強化に配慮する。(3) ニュース発表、意見交換等により視野を広める。

(4) クイズやクロスワードパズル等に挑戦させ、辞書、事典類をひく習慣をつけ、意欲の高揚に努める。(5) 卓球などを通してその楽しさとともに体力づくりを図る。(6) 「ミニ講話」の場を設け、情報交換の場として継続することを実践しています。

最後に「目標を持って」「読書で力を」「今日のことは今日のうちに」など、基本事項の定着を目指して指導にあたっており「今、やらなければならぬ事は？」を自問自答しながら、子どもたちが元気になることを願ってやまないとおっしゃっていました。

〇ひとりで悩まずに

教室に一歩足をふみ入れると、なごやかな雰囲気が漂い、苦しみ、いら立ちなどで、疲れ果てている子どもたちのために、すばらしい環境づくりに努力されていることを実感しました。

「おおとり教室」に通った子どもたちは、小学生は復帰し、中学



「おおとり教室」には児童・生徒の作品が並んでいます

生は進路状況を見ると、生徒全員ほぼ自分の希望がかなえられたようです(平成11年度)。

このことは大きな成果であり、普段からの気軽な相談活動の必要性が再確認できたといえます。大館市でも、昨年の傾向から、不登校児童生徒が増加するのはこれから(二学期)のようです。子どもに不登校の兆候が見えたら、早い対応が早期解決につながることを信じ、ひとりでも多くの保護者や児童・生徒に「おおとり教室」の門戸をたたいてほしいと願っています。教室を後にしました。

○相談日 火・水・木・金 曜日の
午前9時から午後4時まで

○電話 42-4888

○住所 大館市字三の丸60

(勤労青少年ホーム内)